



ASIA PACIFIC  
SYSTEM RESEARCH  
FULLCAST GROUP

アジアパシフィックシステム総研株式会社

# ASIA PACIFIC SYSTEM RESEARCH FULLCAST GROUP

2008年9月期 決算報告

2008.11.4

|       | 2008年9月期(連結)<br>(累計) |        |        | 2007年9月期(連結)<br>(累計) |        | (単位:百万円)   |
|-------|----------------------|--------|--------|----------------------|--------|--|
|       | 金額                   | 構成比    | 昨年対比   | 金額                   | 構成比    |  |
| 売上高   | 7,628                | 100.0% | 95.4%  | 8,000                | 100.0% | 金融関連の大型案件減少と技術者の確保に苦慮したことによる売上高減。  |
| 売上総利益 | 1,450                | 19.0%  | 109.9% | 1,319                | 16.5%  |  |
| 営業利益  | 307                  | 4.0%   | 80.5%  | 381                  | 4.8%   | 品質管理の徹底を行い赤字プロジェクトの極小化を達成し、安定した粗利率を確保。                                       |
| 経常利益  | 320                  | 4.2%   | 78.7%  | 407                  | 5.1%   |  |
| 当期純利益 | 289                  | 3.8%   | 84.2%  | 343                  | 4.3%   | 社内インフラ・社内制度・コンプライアンス体制等の整備のため管理部門を増強。新卒・中途採用強化のためのリクルート費用、人材育成の教育費用等を積極的に投下。 |

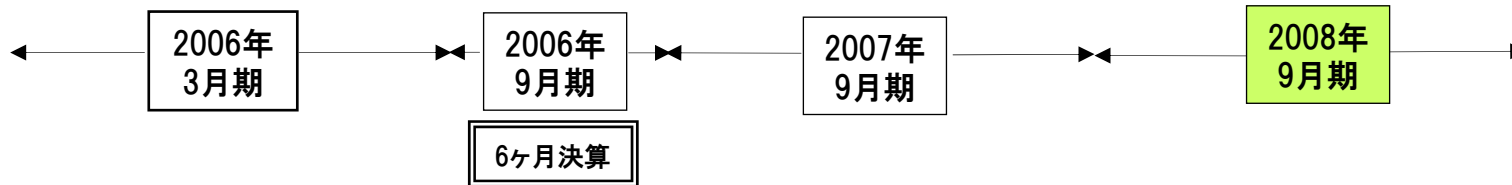
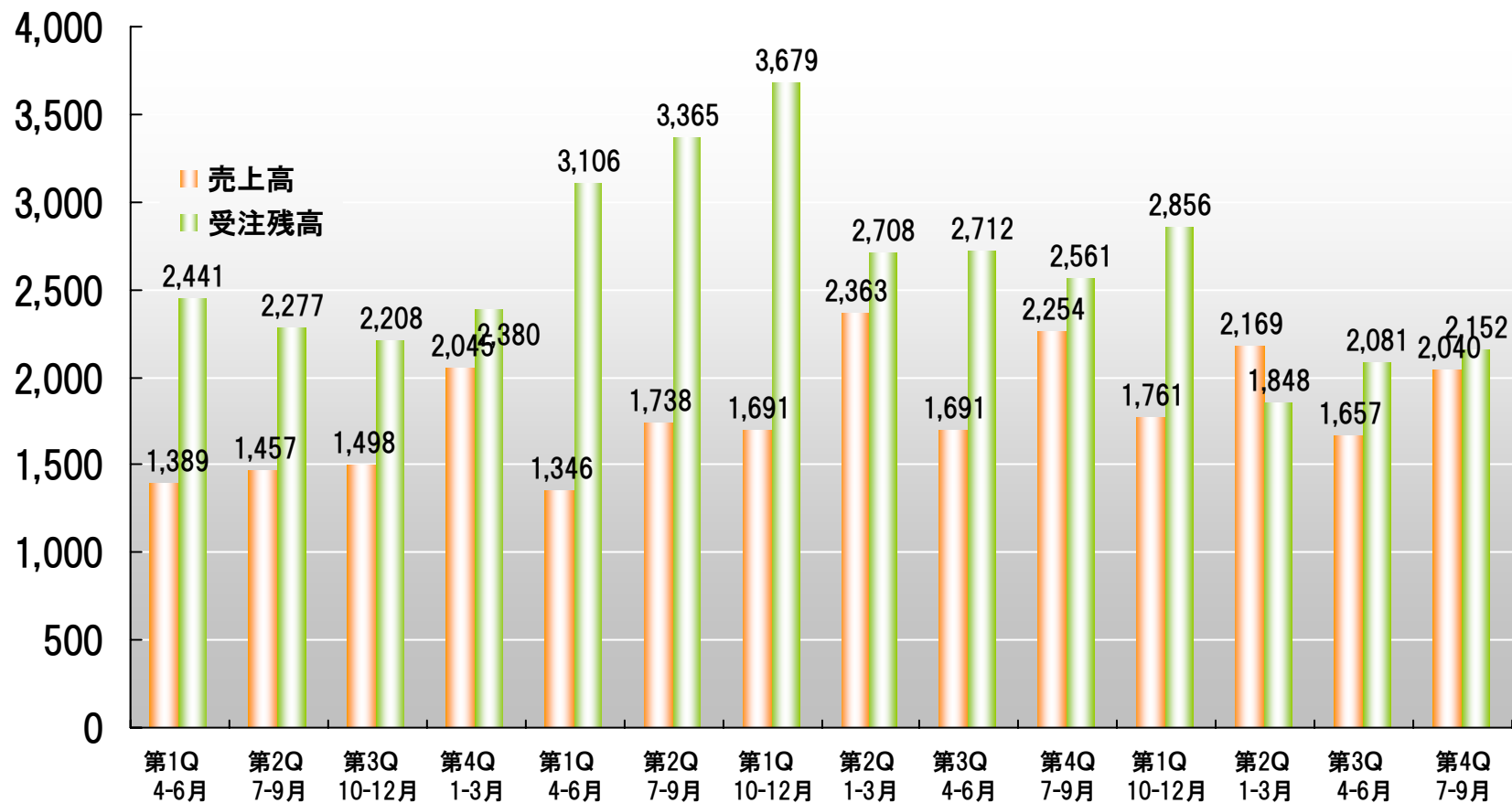
・新卒・中途採用強化のためのリクルート費用や人材育成のための教育費用を積極的に投下。

・従業員満足度向上のための社内制度整備(人事評価制度、給与制度、教育制度等)、日本版SOX法対応を含めたコンプライアンス体制整備等の推進のため管理部門を増強。

#### 主な特別損益

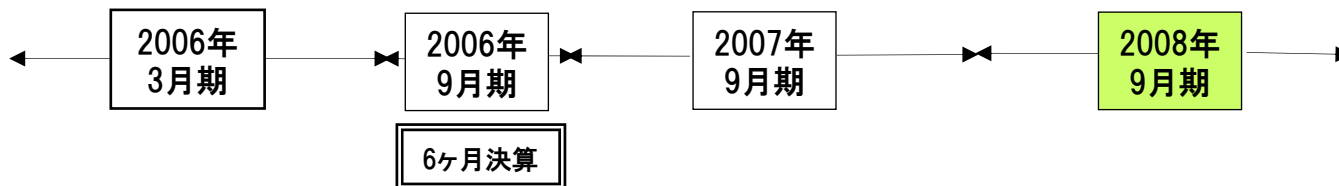
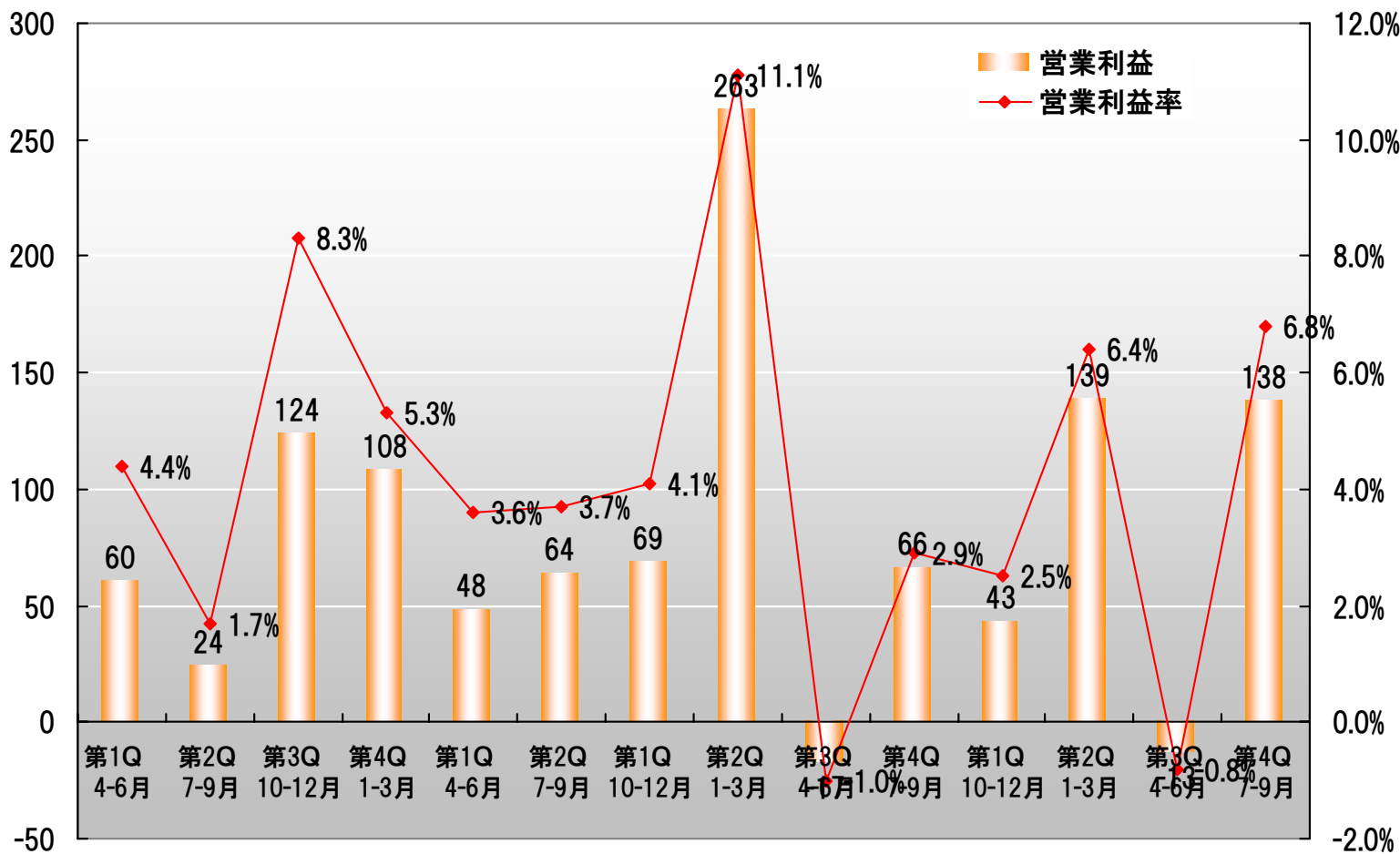
- ・貸倒引当金戻入益 45M
- ・のれん代の減損損失 37M
- ・子会社移転費用 6M

単位：百万円



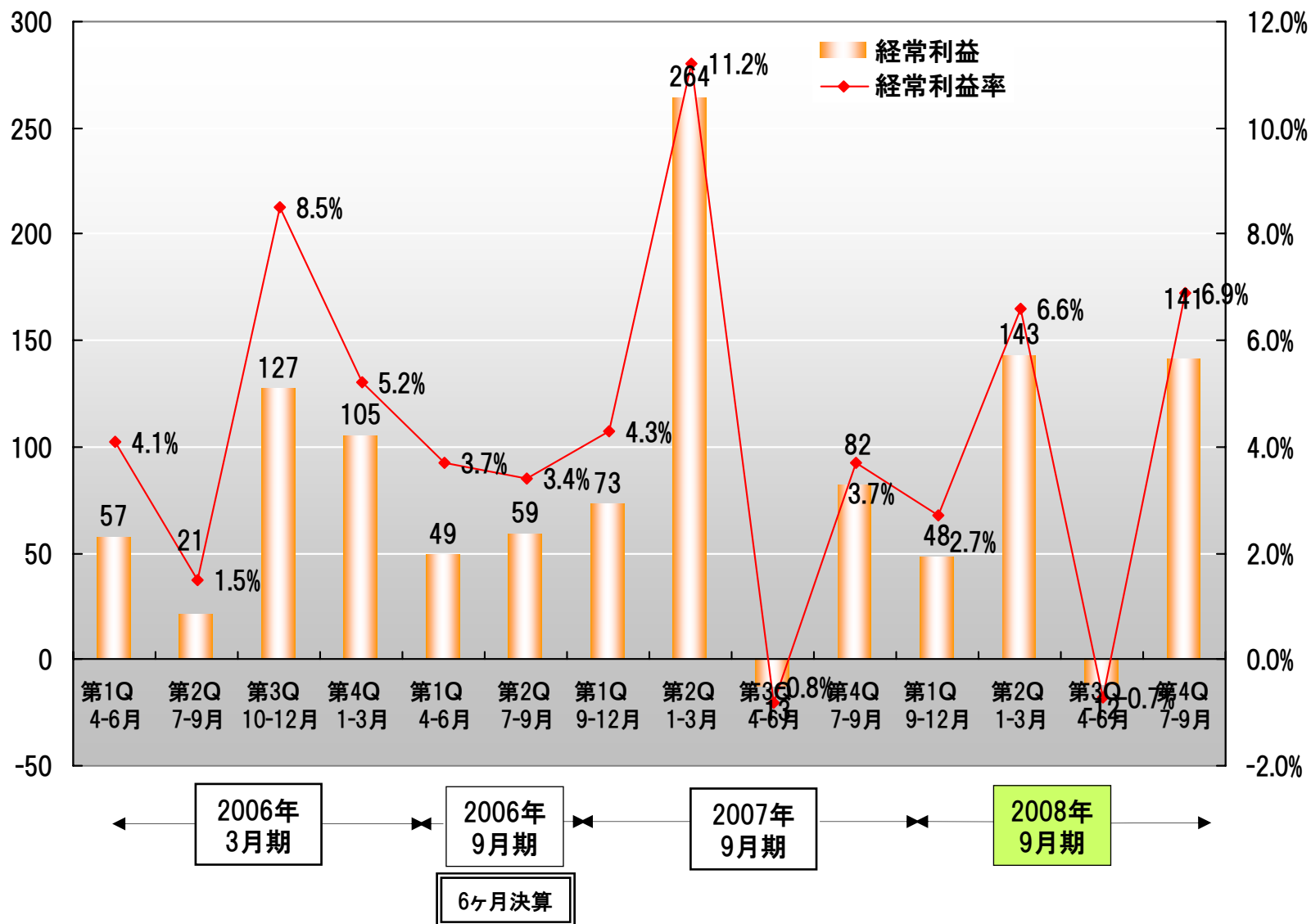
※2006年9月期より連結決算に移行

単位:百万円



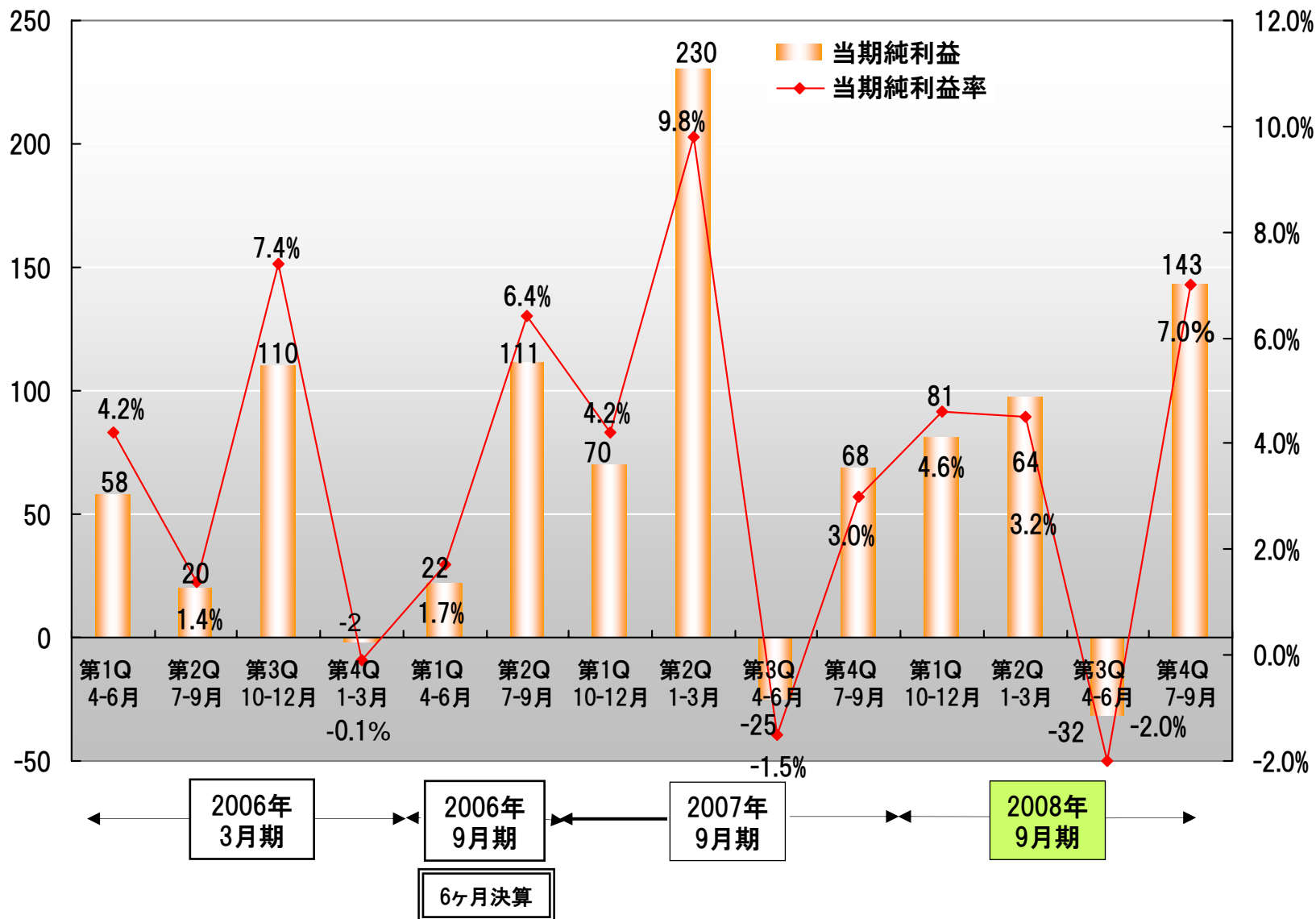
※2006年9月期より連結決算に移行

単位:百万円



※2006年9月期より連結決算に移行

単位:百万円

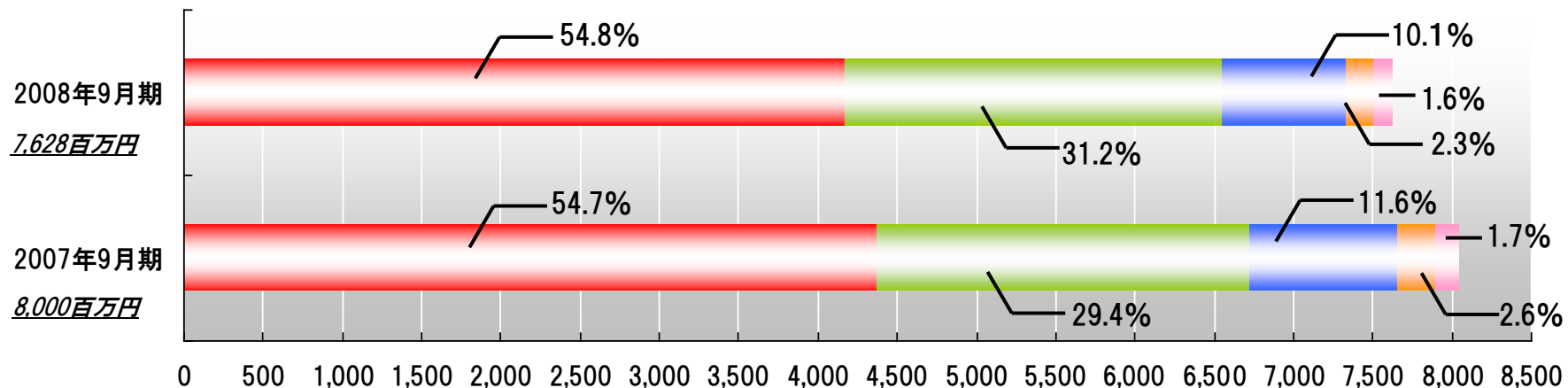


※2006年9月期より連結決算に移行

品目別売上

■ システム開発 ■ 保守・運用 ■ ライセンス・パッケージ ■ Webデザイン ■ その他

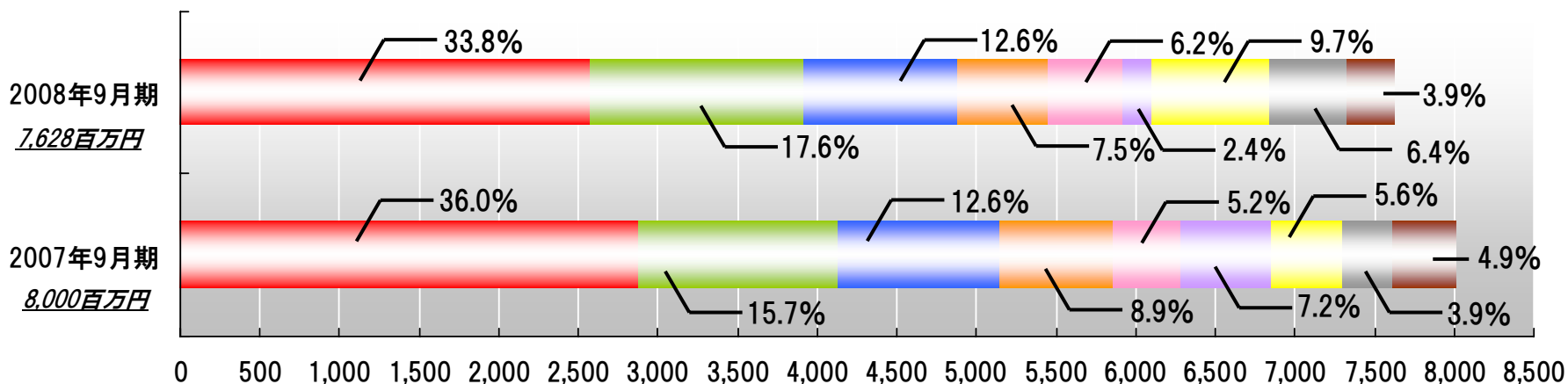
単位:百万円



業種別売上

■ 金融 ■ 情報 ■ 通信 ■ 人材 ■ 製造 ■ 学校 ■ 運輸・流通 ■ 公共 ■ その他

単位:百万円



(単位:百万円)

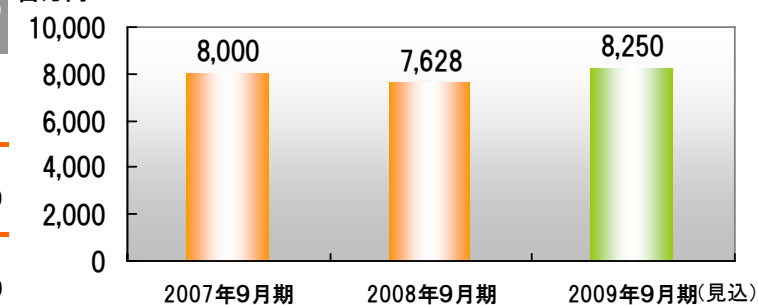
## 売上高(連結)

2009年9月期通期業績予想(連結)

2008年9月期実績(連結)

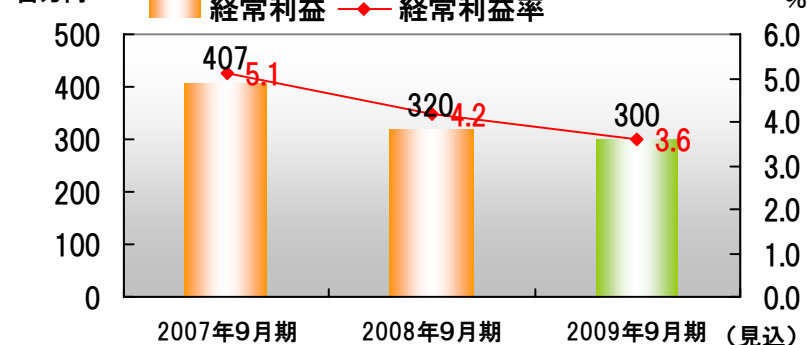
|       | 金額    | 構成比    | 昨年対比   | 金額    | 構成比    |
|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 売上高   | 8,250 | 100.0% | 108.1% | 7,628 | 100.0% |
| 経常利益  | 300   | 3.6%   | 93.5%  | 320   | 4.2%   |
| 当期純利益 | 165   | 2.0%   | 57.0%  | 289   | 3.8%   |

百万円



## 経常利益(連結)

百万円

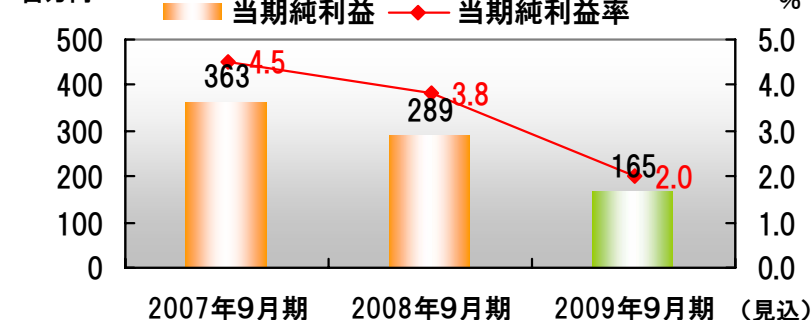


ご注意 上記計画は現段階での当社の意向であり確約するものではありません。

- ・NonStopサーバ(日本HP社製)関連ソリューション、BtoBソリューションの強化により、受注競争力を高め、売上の拡大を図る。
- ・優秀な人材の育成・確保のため、継続的な教育費用とリクルート費用の積極的な投下を行う。
- ・日本版SOX法対応を含めたコンプライアンス体制整備等の継続的な実施を行う。

## 当期純利益(連結)

百万円



## 提携

**キヤノン電子株式会社との資本業務提携覚書締結ならびに当社普通株式に対する公開買付けに関する賛同意見表明。**

当社は、平成20年10月14日開催の当社取締役会においてキヤノン電子株式会社（コード番号：7739 上場証券取引所：東京証券取引所）との資本業務提携に関する覚書に合意するとともに、公開買付者による当社普通株式に対する公開買付けについて賛同の意を表明することを決議しました。

\* 詳細は平成20年10月14日付当社リリースをご参照ください。

**【公開買付者の概要】**

|         |  |
|---------|--|
| 商号      | キヤノン電子株式会社   |
| 主な事業の内容 | コンポーネント、電子情報機器等の国内外における製造及び販売  |
| 設立年月日   | 昭和29年5月20日   |
| 本店所在地   | 埼玉県秩父市下影森1248番地  |
| 代表者     | 代表取締役社長 酒巻 久   |
| 資本金     | 49億6,915万円   |
| 連結子会社   | 国内外に13社<br>(国内)<br>・キヤノン電子ビジネスシステムズ株式会社<br>・イーシステム株式会社 他<br>(海外)<br>・キヤノン電子マレーシア株式会社 |

|         |   |
|---------|---|
| 商号      | アジアパシフィックシステム総研株式会社<br>Asia Pacific System Research Co., Ltd. |
| 設立年月日   | 1970年4月1日   |
| 決算期     | 9月末日  |
| 主な事業の内容 | 情報処理サービス業   |
| 本社      | 東京都豊島区  |
| 代表者     | 代表取締役社長 内山 毅  |
| 資本金     | 23億9,991万円(2008年9月末現在)  |
| 発行済株式数  | 900万2千2百株(2008年9月末現在)   |
| 従業員数    | 526名(連結)(2008年9月末現在)  |
| 拠点      | 本社(東京)、関西支社(大阪)、九州支社(福岡)、沖縄支社                                 |
| 連結子会社   | ・株式会社ソリューション開発<br>・トアーシステム株式会社<br>・日本NonStopイノベーション株式会社       |

# 『創造的な人財と優れた技術により、 豊かな社会とお客様の発展に寄与していきます』

IR担当窓口

お問い合わせ先

電話 03-3985-4311

代表取締役社長

内山 毅

上席執行役員GS本部長

井関 潔

経営企画部長

高鍋 秀樹

<http://www.asia.co.jp> / [e-mail:keiei-kikaku@asia.co.jp](mailto:keiei-kikaku@asia.co.jp)

アジアパシフィックシステム総研株式会社 IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。

また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。

本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。アジアパシフィックシステム総研株式会社 IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。